

■コメント

1. ヘルパンギーナ

定点当たり2.38人と、前週と比べてやや減少しましたが、増加傾向で推移しています。今後さらに増加する可能性があり、注意が必要です。(次頁参照)

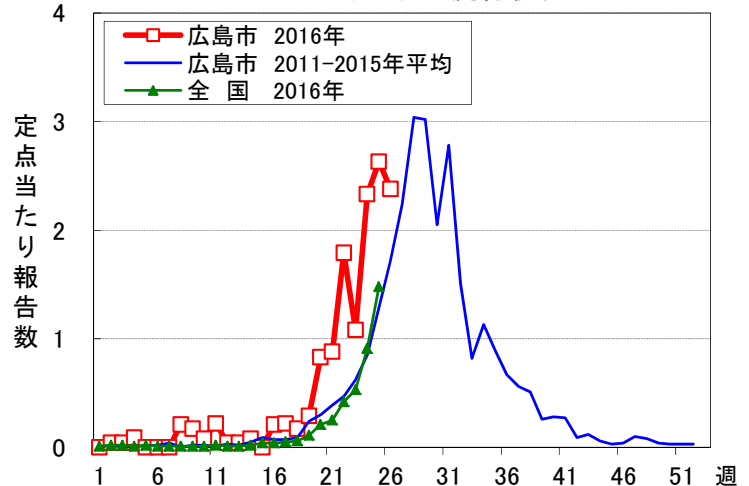
2. 腸管出血性大腸菌感染症

2件の報告があり、今年の累計は4件となりました。手洗いの励行、食品の十分な加熱など感染予防を徹底しましょう。

3. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は9件となりました。

ヘルパンギーナの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.01		小児科	流行性耳下腺炎	14	0.58	0.86	
	咽頭結膜熱	25	1.04	0.77		眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.05	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	2.38	1.72			急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
	感染性胃腸炎	120	5.00	4.80		眼科	流行性角結膜炎	4	0.50	0.80	
	水痘	15	0.63	0.90		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	7	0.29	4.34			無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
	伝染性紅斑	28	1.17	0.16			マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.46	
	突発性発しん	10	0.42	0.64			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.05			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14		
	ヘルパンギーナ	57	2.38	1.72							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	81	男性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	4	男性(30歳代)・O103・1人、女性(30歳代)・O103・1人
5	アメーバ赤痢	2	7	男性(30歳代)・1人、男性(50歳代)・1人
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	11	男性(80歳代)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	男性(70歳代)
	後天性免疫不全症候群	1	9	男性(30歳代)・感染者

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタウ イルス) 感染性 胃腸炎
報告数	広島市	第22週	-	16	65	191	10	1	21	13	-	43	22	7	-	9	-	-	3	-	1
		第23週	-	23	66	153	22	4	29	8	2	26	16	3	-	9	-	-	9	1	-
		第24週	-	30	63	144	15	10	27	12	-	56	23	4	-	6	-	-	8	-	3
		第25週	-	22	55	152	10	8	36	12	1	63	18	9	-	2	-	-	2	-	3
		第26週	-	25	57	120	15	7	28	10	1	57	14	1	-	4	-	-	5	-	1
定点当 たり	広島市	第22週	-	0.67	2.71	7.96	0.42	0.04	0.88	0.54	-	1.79	0.92	0.29	-	1.29	-	-	0.43	-	0.14
		第23週	-	0.96	2.75	6.38	0.92	0.17	1.21	0.33	0.08	1.08	0.67	0.13	-	1.29	-	-	1.29	0.14	-
		第24週	-	1.25	2.63	6.00	0.63	0.42	1.13	0.50	-	2.33	0.96	0.17	-	0.86	-	-	1.14	-	0.43
		第25週	-	0.92	2.29	6.33	0.42	0.33	1.50	0.50	0.04	2.63	0.75	0.38	-	0.25	-	-	0.29	-	0.43
		第26週	-	1.04	2.38	5.00	0.63	0.29	1.17	0.42	0.04	2.38	0.58	0.04	-	0.50	-	-	0.71	-	0.14
	全国	第24週	0.07	0.72	2.82	5.82	0.48	0.35	0.41	0.57	0.03	0.91	1.06	0.08	0.01	0.74	0.03	0.07	0.64	-	0.16
		第25週	0.04	0.70	2.75	5.42	0.44	0.41	0.44	0.62	0.03	1.48	1.13	0.12	-	0.81	0.03	0.05	0.70	0.01	0.09

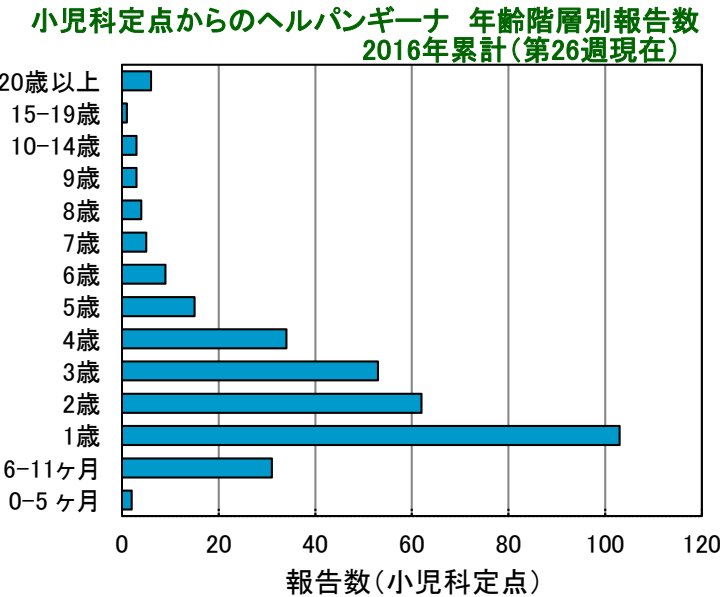
■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(37.3) 口内炎 発赤 丘疹	2	女	2016/05/25	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるヘルパンギーナの年齢階層別報告数(2016年累計)



ヘルパンギーナは、発熱と口の中の水疱を特徴とするウイルス性の疾患で、例年、乳幼児を中心に夏季に流行します。

広島市における2016年第1～26週の小児科定点からの累積報告数(331件)の年齢階層別割合をみると、1歳(31.1%)が最も多く、1～3歳が全体の65.9%を占めています。

ヘルパンギーナは、回復して症状がなくなっても、2～4週間の長期間にわたって便からウイルスが排泄されることがあるので、手洗いの励行や排泄物の適切な処理を心がけるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp